

MAP 包装対応の紙製トレー容器「KIRIGAMI™」

王子ホールディングスと共同開発

6/6～6/9 FOOMA JAPAN にて初展示

株式会社寺岡精工（本社：東京都大田区/代表取締役社長 山本宏輔）は、この度、王子ホールディングス株式会社（本社：東京都中央区/代表取締役社長 磯野裕之）と共同で、環境配慮型の紙製トレー容器「KIRIGAMI™」を開発したことをお知らせいたします。

「KIRIGAMI™」は、6月6日～6月9日に東京ビッグサイトで開催される「FOOMA JAPAN 2023」の寺岡精工ブース内に展示いたします（FOOMA JAPAN 2023 <https://www.foomajapan.jp/>）。

昨今、世界的なプラスチック使用量削減の動向を受け、プラスチックトレー容器の紙化が進んでいます。また賞味期限延長によりフードロス削減につながる高機能の包装形態は、食品流通業界から強い需要があります。環境配慮の観点から、フードインダストリーにおける包装ソリューションに知見を持つ当社は、紙加工技術を持つ王子ホールディングスと共同で、高い密封性を付与可能な紙製トレー容器「KIRIGAMI™」を開発しました。

このたび開発した紙製トレー容器「KIRIGAMI™」は、フランジ部（トレーの縁）に継ぎ目がないため高い密封性を有します。MAP 包装（※1）にも使用可能なため、食品の賞味期限延長によるフードロス削減に貢献できます。また、紙部分とトレー内面フィルムは容易に分離でき、使用後の分別廃棄が可能です。さらに、容器への印刷が可能なため、内容物を表示するための二次包装の削減や美粧性の付与が可能です。



▲紙製トレー容器「KIRIGAMI™」

寺岡精工は、計量、包装など自社のコア技術を活かし、スーパーマーケットのプロセスセンターやコンビニエンスストアを主な顧客として、包装機、高速ラベラー、食品検査装置等を中心とした一連のソリューションを提供してきました。今後も、フードインダストリーに関わるお客様の課題解決、そして環境問題解決につながるソリューションを提供してまいります。

(※1) ガス置換包装 (Modified Atmosphere Packaging)。パッケージ内の空気を食品の保存に適したガスに置換して包装する技術で、賞味期限の延長が可能。

■ FOOMA JAPAN 2023 概要

会期 : 2023年6月6日(火)~9日(金) 10:00~17:00

会場 : 東京ビッグサイト (東京国際展示場) 東1~8ホール
寺岡精工ブース:【東7ホール 7K-28】

入場料: 無料 完全来場事前登録制

公式サイト: <https://www.foomajapan.jp/>

【株式会社寺岡精工 会社概要】

- 本社所在地: 東京都大田区久が原 5-13-12
- 創業 : 1925年 (寺岡式敏感自動バネ秤開発)
- 代表者 : 代表取締役会長 寺岡和治、代表取締役社長 山本宏輔
- 資本金 : 1億円
- 従業員数 : 連結 3,789名 (2022年度)
- 主な事業 : 流通小売、食品製造、ロジスティクス、飲食・専門店の4事業分野およびサポートサービス、クラウドサービスによる精密機器等の開発・製造・販売・保守
- 国内営業・サービス拠点 : 141拠点
- HP URL : <https://www.teraokaseiko.com/>



since 1925

掲載画像ダウンロード URL : <https://shurl.jp/170d> (有効期間: 6月5日~7月4日)

■ 本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社寺岡精工 グローバルマーケティングコミュニケーションズ 上山・鈴木

TEL: 03-3752-5510 FAX: 03-3752-5562 Mail: pr-teraoka@jp.digi-group.com

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社寺岡精工 お客様窓口 TEL: 0120-37-5270 (平日 9:30-17:30)